



うたフェス JAPAN
Japan International Choral Festival

スロベニア・リュブリャナ音楽バレエ学校附属の室内合唱団。約 40 名の精鋭メンバーによって構成され、ルネサンスから現代音楽まで幅広いレパートリーを持つ。若手スロベニア人作曲家への新作委嘱にも積極的に取り組み、国内外でその作品を紹介している。これまでにトロサ、コークなど数々の国際合唱コンクールで入賞・優勝を重ね、2023 年には「Choir of the World」を受賞。ヨーロッパ、アジア各地で演奏活動を展開し、これまでに 3 枚の CD をリリースしている。

～スロベニアの響き～KGBL 室内合唱団サテライトコンサート～

KGBL 室内合唱団

歓迎演奏 Brilliant Harmony (指揮 松下 耕)

2026

8 / 25 Tue. 19:00 開演 18:30 開場
ルーテル市ヶ谷ホール

Andrej Makor (1987)
POMILUI MYA – 2020
I. Ghospodi Iisusye Khristye
II. Spaseniye sodelal

Sergej Khvoshinsky (1957)
BOGORODITSE DEVO (Gospel of Luke 1:28,42) – 2009

Gustav Holst (1874-1934)
NUNC DIMITTIS (Song of Simeon) – 1915

Francis Poulenc (1899-1963)
SALVE REGINA (Marian Antiphon) – 1941

Eriks Ešēvalds (1977)
O SALUTARIS HOSTIA (Thomas Aquinas) – 2009

Ambrož Čopi (1973)
MISSA LAETITIAE (Mass ordinary) – 2023

Jakub Neske (1987)
MIRONCZARNIA (Miron Białoszewski) – 2014

Krištof Strnad (1999)
KRESNIK (folk texts, Tone Pavček) – 2026

Federica Lo Pinto (1997)
SOLEIL (different authors) – 2022

Eric Whitacre (1970)
LUX AURUMQUE (E. Esch, / C. A. Silvestri) – 2000

Matej Kastelic (1994)
OPEN ROAD (Heart Sutra, Walt Whitman, William Shakespeare)
– 2026

Ambrož Čopi
Conductor

Lara Oprešnik
Pianist



[全席自由] 一般 前売 2,000 円
当日券 3,000 円

購入は
こちら



KGBL CHAMBER CHOIR

Ljubljana (Slovenia)

KGBL Chamber Choir

Ambrož Čopi, Conductor
Maša Prah, Assistant Conductor

Lara Oprešnik, Pianist

Profile

Ambrož Čopi

KGBL Chamber Choir 指揮者

アンブロジー・チョピ（1973年生まれ）は、Dane Škerl、Uroš Rojko に作曲を師事、またリュブリャナ音楽アカデミーにてピアノを専攻した。作曲家、指揮者、講師として知られるほか、コペルで開催される国際青少年合唱祭「Aegis Carminis」の芸術監督も務めている。現在は、リュブリャナ音楽・バレエ音楽院（KGBL）で合唱活動の責任者を務めるとともに、コペル芸術高等学校で教鞭をとっている。

教職に就いて以来、彼は生徒たちの合唱音楽における創造性を育み、スロベニアの次世代の作曲家たちにとっての指導者として頭角を現してきた。彼の指導のもと、数多くの新作が生まれ、世界中で演奏されている。

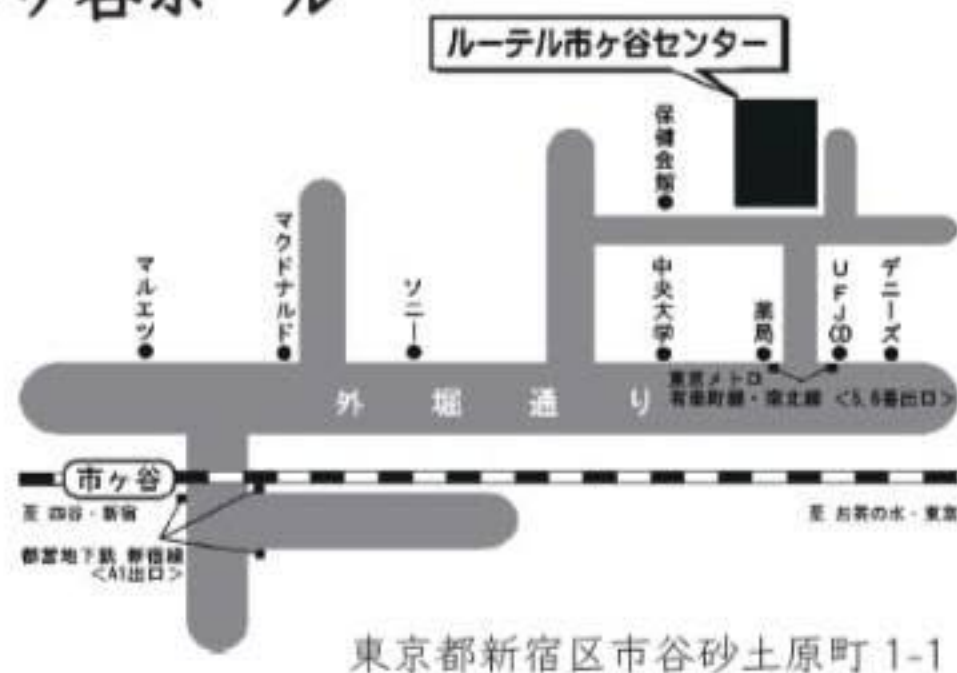
彼の作曲した作品は5枚のCDに収録されており、世界中の舞台で定期的に演奏されている。作品は主にアストルム・ミュージック・パブリッシャーから出版されているが、Sulasol、TICF、Hinshaw Music から出版されている作品もある。

チョピは数多くのスロベニアの合唱団を率い、国内のコンクール（金賞15回受賞）および国際コンクール（第1位を29回受賞）の両方で目覚ましい成果を収めてきた。卓越した演奏や最優秀指揮者として、数多くの賞を受賞している。現在は、スロベニアを代表する合唱団として高く評価されている、KGBL 室内合唱団とプリモルスカ大学アカデミック合唱団を指揮している。2014年には、音楽分野におけるスロベニア最高の荣誉である Gallus Plaque(ガッルス記念盾)をはじめ、権威ある国家賞である Prešeren Fund Prize(プレシェレン基金賞)、Marian Kozina Prize(マリヤン・コジナ賞)、およびスロベニア共和国教育賞を受賞した。

また、世界各地の合唱コンクールに審査員として定期的に招かれるほか、指揮者や作曲家を対象とした合唱音楽セミナーやマスタークラスに講師として精力的に携わり、その専門知識を提供している。

Access

ルーテル市ヶ谷ホール



東京メトロ有楽町線・南北線市ヶ谷駅下車 5・6番出口より徒歩1分
JR 中央線・都営地下鉄新宿線市ヶ谷駅下車 徒歩5分

Contact

うたフェス JAPAN 実行委員会 utafes_info@icot.or.jp
050-3126-2690[平日10時-16時]

歓迎演奏 Brilliant Harmony (指揮: 松下 耕)

Program

Kamuy (カムイ) - アイヌ伝承の旋律と詩

詩: アイヌ伝承 曲: 松下 耕

Tre vers til mor (母に捧げる3つの詩)

詩: Halldis Moren Vesaas 曲: Ellrun Ystad

編曲: Idunn Vindspoll

Tantum ergo

曲: 松下 耕

松下 耕

Brilliant Harmony 音楽監督・指揮者

1962年東京生まれ。作曲家、合唱指揮者。国立音楽大学作曲学科首席卒業。卒業後、ハンガリーに渡り、合唱指揮法及び作曲法を学ぶ。レメニ・ヤーノシュ、エルディ・ペーテル、モハイ・ミクローシュ他に師事。作曲家として生み出している作品は、合唱曲を中心として多岐にわたり、それらの作品は世界各国で広く演奏されており、同じく楽譜も、国内外で出版が相次いでいる。これまでに、国内およびポーランド、中国、台湾において個展が開催された。2005年、合唱音楽における国際的かつ優れた活動が認められ、「ロバート・エドラー合唱音楽賞」をアジア人で初めて受賞した。2023年、国際コダーイ協会より名誉賛同者 (Distinguished Patron) に任命される。同年、ポーランド宗教音楽研究所より、最優秀宗教音楽家として表彰される。

第91回(2024年度)NHK全国学校音楽コンクール高等学校の部課題曲「明日のノート」作曲家。

一般社団法人東京国際合唱機構代表理事。板橋区観光振興ビジョン2035策定検討委員会委員。



Brilliant Harmony

1988年結成。音楽監督・常任指揮者、松下 耕。

女声合唱の新たな可能性と深い音楽表現を追求している。国内のみならず海外での演奏機会も多く、スペイン「トロサ国際合唱コンクール」での総合グランプリ、イタリア「セギッツイ国際合唱コンクール」最優秀同声合唱賞受賞など、国内外で高い評価を得ている。2005年「ヨーロッパ・グランプリ・コンクール」にアジアの女声合唱団として初めて出場。2010年、バンクーバー「MusicFest Vancouver」にて招聘演奏。2017年、日本アカデミー賞優秀作品賞を受賞した映画「関ヶ原」の劇伴に参加、主題歌を担当。

2023年京都アルティ声楽アンサンブルフェスティバルにて「ルネサンス作品の女声合唱編曲への挑戦」モデル演奏をつとめる。2025年12月より、合唱表現の幅を広げるため、ダンサーのYASUKO氏によるダンスレッスンを取り入れている。2026年9月、ノルウェーにて開催される「グリーグ国際合唱フェスティバル」に出場予定。

